

炭小屋ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel.045-894-7474

炭小屋広場のつづやき

楽しい仲間たちの中にはいろいろなグループがあります。その中でも一番身近なグループがZFCです。私は地理的に恵まれ家から歩いて20分ほどで参加できます。

仲間に入れてもらい10年を過ぎました。この間センターの責任者も池本園長、飯塚さん、藤田さん、東さん、今は尾崎さんと代りお世話になっています。ZFCで辞められた方はほんの少数です。

と言うことは皆さん結構居心地が良いのだと思います。それと何よりも皆さんが好きな事をしているからです。また一人でちまちまと作業をしているわけではなく仲間と一緒にするから楽しいのでしょう。この作業が人の為になることであれば更にうれしいものです。

でも最近そんな作業が少なく淋しい気がします。

今年のスプリング・フェアはその売上金すべてを東日本大震災に寄付することが3月の運営会で決まりました。震災直後の活動日が3回も活動中止となり準備期間が少なく十分な用意ができなかった。

それでもスプリング・フェアの2日間で製品は完売、1年ぶりに復活した駕籠かきも頑張り、売上合計は18万円余りを寄付することができました。なかなか一人では集められない金額が多くの中間の力で集まりました。

さあ、次は横浜ろう学校の竹馬、竹トンボ教室に行くぞ

私たちに横浜自然観察の森以外で遊ぶことが私たちのビタミン剤であり、次の活動のエネルギーとなります。

炭小屋はこれからも皆さんと話しながら昼メシが食べれるところとして大いに活用しましょう、作業がしたくないときはベンチに座って木々を眺めているだけでも良いではありませんか、そんな雰囲気炭小屋広場が好きです。おじさん3人の味噌汁当番も最近板についてきました。

皆さんよくよく考えてみてください。炭小屋広場、こんな良いところはそんなにあるものではありません。電気あり、水道あり、なべ、かま、寝袋まであります、多少の不満があってもそれに勝る笑いがあり、食べ物あり、飲みものまであります。

これからは25、30周年を目指し、仲間を増やし、炭小屋をさらに発展、継続しましょう。

何も炭小屋のことだけでなくこれが畑でも、昼カラでも、マージャンでも、会社の仲間でも、写真仲間でも、同窓生でも、仲間がたくさんあることがこれからの生活を豊かにしてゆくでしょう。

最後にちょっぴり辛口のお願いを一言、なんだかんだ言ってもZFCは横浜自然観察の森の中にあるわけで、好き勝手な行動はできません。我々はときどきビタミン剤が欲しいのです。横浜自然観察の森の中を見渡せば我々がお手伝いできることはいろいろ見受けられます。たとえば便所の周りの鉄柵など間伐材と竹などでもっと環境にあった柵ができます。そのほか希少植物の保護の囲いも無粋な鉄棒でだらしなく囲ってあるのが見受けられます。これらは我々の活動範囲外なので勝手には触りませんが依頼されればZFCは喜んでお手伝いをするでしょう。レインジャーさんもう少し気楽に相談されたら良いのではないのでしょうか。何しろ平均年齢65歳以上の集まりですから!!! 人生経験は豊富ですぞ!!!

江崎 章

1. 4～5月の活動報告

- ① 4月23日(土)雨 6名 炭小屋整理
- ② 4月30日(土)晴 24名 観緑会
- ③ 5月7日(土)雨 10名 炭焼き準備
- ④ 5月14日(土)晴 21名 竹林整備、クヌギ玉切り、シイタケコマ打ち、炭焼き準備
- ⑤ 5月21日(土)晴 20名 竹林整備、炭焼き(本窯・ドラム缶窯)、運営会
- ⑥ 5月22日(日)晴→雨 7名 炭焼き
- ⑦ 各水曜日 準活動日として木工作业等を実施



ソメイヨシノの新緑
天狗巣病がよく判ります



よく煮えたかな？



1ヶ月遅れ、春のお楽しみ

2. 6月度活動予定

- ① 6月4日(土) 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ除伐(片岡・鬼塚・勝俣……) 味噌汁当番:山本・勝俣・鬼塚
- ② 6月11日(土) 下草刈り(池の上)、駐車場草刈り、炭材準備 味噌汁当番:片岡・赤羽・大庭
- ③ 6月18日(土) 下草刈り(クヌギ林)、炭焼き(ドラム缶窯)、運営会 同:加藤・村松・江崎
- ④ 6月19日(日) 森のボランティア体験対応(関根……)←募集中
- ⑤ 6月25日(土) 製材、炭小屋整理、道具手入れ、クヌギ林管理作業 同:大庭……
- ⑥ 毎水曜日:準活動日

3. 編集後記

- ① 巻頭コラム、今回は江崎章さん。確かにビタミン剤が少なくなっています。ビタミンは触媒のようなものでそれ自体では栄養にはなりません、たんぱく質・糖質やミネラル等を効果的に活かすようにしてくれる大切なものです。今年度からは、ボランティア保険が今までと異なり、補償されるエリアが観察の森の中に限定され、チェーンソー作業が補償されなくなりました。その結果、今まで通りに9号緑地の間伐を全員で実施することも難しくなっています。加えてボランティアの高齢化に伴う事故予防が叫ばれ、制約も多くなり厳しくなっています。しかし、人生経験豊富な人間には経験と知恵がたくさんあります。その経験と知恵をフルに使って新たなビタミンを探していきましょう。
- ② 5月14日(土)舞岡公園小谷戸の里で行われた「横浜市森づくりガイドライン研修」に、鬼塚さん・片岡さんに出席いただきました。これからの横浜市内公園・市民の森・緑地などの管理に関する基準が制定され、その内容について管理に関わる方々への説明会でした。実際には、現場に合わせた計画や作業手順が決められていくことになるでしょうから、お二方には積極的に観察の森バージョン設定に尽力をお願いします。なお、舞岡公園では炭焼きも含め様々なことが行われているそうです。会員の皆さまもお時間がありましたら、是非行って参考にしてください。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/kids/park/maioka.html>
- ③ 新しい仲間が増えました。山林博さん(釜利谷在住)・岡村隆司さん(釜利谷在住)・吉田賢一さん(氷取沢在住)・勝俣康文さん(蒲田在住)です。紙幅が足りませんので詳細は省きます。是非、森で話し合い知り合って頂きたいと思います。怪我に気をつけて活躍をお願いします。
- ④ 21日炭焼き当番夕食時に、コップの中にムカデが入っていることに気付かず、口の中を刺されると事故が起きました。医療機関に診療も受け大したことにならずに済みました(以前、森の家バーベQで、缶ビールの中にスズメバチが入ったこともあります)。森の中では虫の類は何処から我々に接近してくるか分からないということを肝に銘じて、常に先を読みように心掛け行動しましょう。

以上